

命と地域を支える道づくりプロジェクト

主担当部局：県土整備部

解決すべき課題

- 広域に被害を及ぼす台風や集中豪雨、さらに東海・東南海・南海地震による津波被害など自然災害の脅威は、今後一層深刻化することが予想されており、これらの災害から地域の安全・安心を支える幹線道路等の整備、ミッシングリンクの解消が求められています。
- 産業が集積する地域における幹線道路などで交通渋滞が頻発していることや、平成 25 (2013) 年には式年遷宮を迎えるなど今後さらに多くの来訪者が予想されることから、産業・観光など地域を支える幹線道路等の整備が求められています。

県民の皆さんに成果をお届けします (プロジェクトの目標)

- 社会基盤である幹線道路等の整備を進めることにより、大規模地震や異常気象による集中豪雨等の自然災害の脅威に対して地域の安全・安心を支えるとともに、北・中部地域の産業、南部地域の観光など地域の今ある力を生かした新しい三重づくりが進んでいます。

プロジェクトの数値目標

| 目標項目 | H23(現状) | H24 | H27 |
|--------------------|----------------------|------------|-------------|
| 命と地域を支える道の 供用延長 | 63.1 km (22年度) | 86.8 km | 147.8 km |

[目標項目の説明]

- 県内の高規格幹線道路や主要な直轄国道、地域高規格道路、アクセス道路の供用延長

プロジェクトの構成（実践取組と主な事業）

実践取組 1

「命を支える道づくりに向けた課題」 を解決するために

県民の皆さんの命と暮らしを守るため、緊急時の救助・救援、災害時の復旧・復興を担う「新たな命の道」としての幹線道路およびこれらにアクセスする道路の整備を進めるとともに、ミッシングリンクとなっている未事業化区間の早期事業化に努めます。

（１）命を支える道づくりの推進

【主な事業】

高規格幹線道路、直轄国道事業（県土整備部）
【基本事業名：35101 道路ネットワークの形成】
（第8款 土木費 第2項 道路橋りょう費
3 道路橋りょう新設改良費）
当初予算額：(23) 8,733,333千円
(24) 8,733,333千円
事業概要：緊急時の救助・救援、災害時の復旧・復興を担う「新たな命の道」として紀勢自動車道、熊野尾鷲道路や紀宝バイパスなどの幹線道路について、事業主体と連携・協力し整備を促進します。

県管理道路事業（県土整備部）
【基本事業名：35101 道路ネットワークの形成】
（第8款 土木費 第2項 道路橋りょう費
3 道路橋りょう新設改良費）
当初予算額：(23) 1,753,460千円
(24) 1,152,645千円

事業概要：紀勢自動車道、熊野尾鷲道路にアクセスする県管理道路について、関係機関と連携しつつ整備を推進します。

実践取組 2

「地域を支える道づくりに向けた課題」 を解決するために

集積する産業や魅力ある観光など、地域の今ある力を生かした三重づくりを支える基盤として、産業・観光活動に伴い増加する交通需要に対応し、交通渋滞の解消に資する幹線道路およびこれらにアクセスする道路の整備を進めます。

（１）地域を支える道づくりの推進

【主な事業】

高規格幹線道路、直轄国道事業（県土整備部）
【基本事業名：35101 道路ネットワークの形成】
（第8款 土木費 第2項 道路橋りょう費
3 道路橋りょう新設改良費）
当初予算額：(23) 3,784,667千円
(24) 3,764,667千円
事業概要：交通需要の対応と交通渋滞の解消に資する新名神高速道路、東海環状自動車道や北勢バイパス、中勢バイパスについて、事業主体と連携・協力し整備を促進します。

県管理道路事業（県土整備部）
【基本事業名：35101 道路ネットワークの形成】
（第8款 土木費 第2項 道路橋りょう費
3 道路橋りょう新設改良費）
当初予算額：(23) 4,287,182千円
(24) 3,545,053千円
事業概要：四日市湯の山道路、第二伊勢道路や東名阪自動車道へアクセスする県管理道路などの整備を推進します。